

長崎市障害者自立支援協議会 地域生活支援部会

■地域生活支援部会 令和6年度 活動報告

※下記における係別グループとは虹の架け橋フェスタ係、情報交換会係の2グループを指す。

日 時	内 容
【コア会議】 4月12日（金） 10:00～12:00 対面 22名	① 今年度の運営について ② 今年度の計画について ③ 係別打ち合わせ→全体共有 ④ 事務連絡
【コア会議】 5月10日（金） 10:00～12:00 対面 20名	① 令和5年度の居住サポート実績報告 ② 地域移行・地域定着件数報告 ③ 長崎市の障害福祉の現状について ④ 今年度の計画 ⑤ 報酬改定による地域相談支援のしおり編集作業（係別） ⑥ 事務連絡
【コア会議】 6月14日（金） 10:00～12:00 対面 21名	① 虹の架け橋フェスタについて ② 係別協議→全体共有 ③ 事例検討→全体共有 ④ 事務連絡
【21市町合同部会】 6月18日（火） 13:20～16:30 参加者 18名 （長崎市のみの参加者数）	長崎県からの報告、各市町の取り組み 座談会
【コア会議】 7月12日（金） 10:00～12:00 対面 21名	① にも包括に向けた情報交換会振り返り ② 虹の架け橋フェスタについて ③ 係別協議→全体共有 ④ 事例検討→全体共有 ⑤ 事務連絡
【普及啓発講座】 8月7日（水） 10:00～12:00 参加者約120名	★虹の架け橋フェスタ実施★ ① 挨拶・趣旨説明 ② 講座→三和中央病院 梁瀬氏より病気について、介入する専門職、社会資源の提示についての講座 ③ ピアサポーターについて説明→のぞみ会 河野氏よりのぞみ会の概要やピアサポーターについての説明。 ④ リカバリーストーリー3名発表 ⑤ 質疑応答
【コア会議】 9月13日（金） 10:00～12:00 対面 23名	① 虹の架け橋フェスタ振り返り ② 事例検討→全体共有 ③ 情報交換会について ④ 事務連絡

【コア会議】 10月11日（金） 10:00～12:00 対面 21名	① にも包括に向けた情報交換会振り返り ② 情報交換会について ③ 事例検討→全体共有 ④ 事務連絡
【コア会議】 11月8日（金） 10:00～12:00 対面 21名	① 係別協議→全体共有 ② 事例検討→全体共有 ③ 情報交換会について ④ 事務連絡
【情報交換会】 11月21日（金） 13:30～16:30 対面 86名	※「にも包括」の協議の場 地域生活支援部会情報交換会 →「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の話 地域移行・定着支援の流れの紹介（ロールプレイ） グループワーク
【コア会議】 12月13日（金） 10:00～12:00 対面 21名	① 情報交換会の振り返り ② 事例検討→全体共有 ③ 事務連絡
【コア会議】 1月10日（金） 10:00～12:00 対面 18名	① 1年間の振り返り ② 事例検討→共有 ③ 事務連絡
【21市町合同部会】 2月14日（金） 13:20～16:30	長崎県からの報告、各市町の取り組み 座談会
【コア会議】 3月14日（金） 10:00～12:00	① 来年度の計画

■課題等

- ・「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の分野は多岐に渡っており、当部会のみで解決できるものではない。協議の場の1つとして位置付けは可能。長崎県の指標と実情のすり合わせは必要。
→①推進体制、②医療、③障害福祉・介護、④保険・予防、⑤住まい、⑥住民参画の6つの領域に分かれており、市町・保健所・医療機関・県で取り組む指標を確認する。当事者が地域生活を営む上では、地域の方々の協力や理解が必要。自治会、訪看、生活福祉課、教育関係者等々の意見を知ることで地域の課題を抽出して協議していくことが必要。
- ・地域移行支援においては、病院との連携が不可欠であるが当部会に参加病院が少ない。
今年度は医療機関の方との情報交換会を年1回実施。定期的な部会にも参加してもらえるように呼びかけ参加をしてもらうことで医療と福祉の連携を深めていきたい。
また、病院内だけでは、地域移行が進みにくかったり、役職間で地域移行に対する認識の違があったりする様子。研修会参加等で地域移行に取り組みやすくなる場合もあるため、引き続き病院との連携体制について検討していきたい。
- ・地域移行支援の利用がコロナ禍により激減している。支援が中断することで、患者の退院意欲が低下す

ることが見られる。

→ちゃんぼん会のようなピアサポーターからの講話をすることで退院意欲の促進にならないか検討する。

- ・ピアサポーターや当事者に対するフォローアップが課題となった。ピアサポーター養成講座の受講終了後の活動の場を広げていく事や、部会に参加して頂く時の配慮も必要ということもあった。支援者とピアサポーターとの関わり方についても学ぶ必要があると思われる
- ・他市の地域移行・定着支援の情報を共有していく。県や制度改正の動向を確認するために、部会で研修会に参加することも有効的であると思われる。
- ・今年度は、事例を検討する機会が少なかった。現在の事例を検討することで、地域での課題等が浮き彫りになってくると思うので、次年度は、毎回の事例検討の共有の方法を考えながら取り組む予定。
- ・今年度は報酬改定があり、地域相談支援のしおりの改訂に取り組んだ
事業所や病院が対象となる加算、移行・定着の指定事業所、サービスの流れなど、対象者や事業所、病院にもわかりやすくした方がいいという意見を取り入れた
- ・今回初めて開催された「虹の架け橋フェスタ」に部会として参加し、精神障害についての理解促進として、精神疾患の理解と対応についての講話、市の精神障害者ピアサポート事業を委託している「のぞみ共同作業所」の協力のもと、当事者による体験談（リカバリーストーリー）を語ってもらう機会をもうけ、わかりやすかったというお声をいただいた
参加人数が１００名以上にもなり盛況に終わったため、ぜひ来年度も継続して行っていきたい。